

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870300864
法人名	有限会社 三幸
事業所名	グループホーム つしま
所在地	宇和島市津島町高田甲83-1
自己評価作成日	平成22年5月10日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年6月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>自宅に近い暮らしが出来る、希望に応じては看取りにも取り組んでいる。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は、自治会に加入して、地域とのかかわりを大切にされており、自治会の方等の「地域の応援団」の方々が事業所の外回りの溝掃除を定期的にして下さったり、お花や野菜を届けてくれている。地域のお祭りには、職員が地域の方達とお揃いのTシャツを着て参加し、事業所のことをさらに知ってもらったり、身近に感じてもらっている。調査訪問時には、事業所前の道を通る人が、事業所の中に向けて手を振って話しかけてくださる様子も見られた。</p> <p>市では、昨年度から「認知症地域支援体制構築等推進事業」の取り組みをすすめておられ、事業所も協力し、市職員も認知症について勉強をされた。利用者の中には、不安な状態になった時に市役所の係長が対応して下さると、とても安心される方があり、時々対応をお願いされている。</p>
--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームつしま

(ユニット名) やまも

記入者(管理者)

氏名 土居 松美

評価完了日

平成22年5月25日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 入所者さんが穏やかにその人らしく暮らせるよう支え、家族に信頼して頂けるよう、努力している。	
			(外部評価) 事業所では、利用者がその人らしく過ごすためには、地元での生活を継続することが大切と考え「穏やかにその人らしく」「寄り添い、共に歩き、ぬくもりのある生活」という理念を掲げておられる。大きな板に理念を書いて、玄関に置かれていた。理念を実践できているかということ職員個々が日々振り返り「気づきノート」に記入するようになっている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 自治会や地域のお祭り等に参加させて頂いている。	
			(外部評価) 事業所は、自治会に加入して、地域とのかかわりを大切にされており、自治会の方等の「地域の応援団」の方々が事業所の外回りの溝掃除を定期的にして下さったり、お花や野菜を届けてくれている。地域のお祭りには、職員が地域の方達とお揃いのTシャツを着て参加し、事業所のことをさらに知ってもらったり、身近に感じてもらっている。調査訪問時には、事業所前の道を通る人が、事業所の中に向けて手を振って話しかけてくださる様子も見られた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 推進会議等を通じて話している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	(自己評価)	<p>会議で提案された事を実践している。</p>
			(外部評価)	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>頻繁に連絡を取り合い、入所者さんの相談にも対応し て頂いてる。</p>
			(外部評価)	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>身体拘束をしない事を理解しケアをしている</p>
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修・資料等にて学び徹底している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 親しい弁護士や司法書士に指導して頂いている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 質問を受け理解して頂けるよう努力している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見や要望はスタッフで話し合い改善している。又家族に対してや推進会議でも報告している。 (外部評価) 面会時や電話等で利用者の様子をお知らせしたり、「つしま通信」や運営推進会議録を送付して、事業所の様子をご家族に伝えておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			2ヶ月に一度、職員会議を行い主任より報告をされている。	
			(外部評価)	
			職員会議やミニミーティング、「気づきノート」等で職員の意見を聞くようにされている。食事時の見守りや介助の仕方について、新人職員からの気づきを取り入れて改善されたようなこともある。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			時間外勤務はさせない。役割分担し業者との交流、注文を任せている。	
			(外部評価)	
			ケアについての意見交換、GH連絡会の研修に参加している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			ケアについての意見交換、GH連絡会の研修に参加している。	
			(外部評価)	
			他施設見学や食事会をして交流を図っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			他施設見学や食事会をして交流を図っている。	
			(外部評価)	
			不安や要望を傾聴し安心して暮らせるよう努力している。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			不安や要望を傾聴し安心して暮らせるよう努力している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 御家族の思いを理解しようと努力し気楽に話せるよう配慮している。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談内容によっては他の事業所を紹介している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 食事や日課を共に行い多くの事を教えて頂いている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 御本人の体調が悪い時は御家族が夜間も付き添って協力して頂いている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入所時から変わりなく面会に来たり、お墓参り等に出かけられている。 (外部評価) ご家族・友人と手紙のやり取りをされたり、携帯電話を持って連絡を取っている利用者もある。ご家族が入所されている介護施設に、月1回、職員と面会に行かれる利用者もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) レクリエーションや日課でお互いに交流が図れるよう支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院等で利用が終了してもお見舞い、御家族の要望で支援している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) その人らしい暮らしを続ける為に、御本人の思いや希望を把握しようと努め、職員間で検討している。	
			(外部評価) 管理者は「利用者個々がその人らしく過ごすためにはこれまでの生活を知ることが大切」と考え、現在、事業所独自のアセスメント様式で情報を集めて、センター方式に転記する作業をすすめておられる。ご自分から話しかけて来られない方や、話がしたいような様子が見られた時には、時間を取ってご本人とかかわるようにされている。	さらに今後も、ご本人が求めていることを探るために、アセスメントの工夫を重ねていかれ、ご本人の思いや意向に沿った生活の支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 出来る限り情報収集しているが独居だった為、難しい方もおられる。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 入所後の状況を観察し職員間で話し合うようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人・家族の希望を中心にカンファレンスにて意見をまとめ作成している。	
			(外部評価)	
			職員が知り得た利用者の意向や、面会時等にお聞きしたご家族の要望や意見を踏まえ、職員でカンファレンスして、計画作成者が計画を作成しておられる。3か月ごとの見直しと利用者の状態に応じて、計画を見直しおられる。	ご家族とともに介護計画について話し合う機会を設けたり、ご家族や地域の力も採り入れて、利用者の生活を支えていけるような計画の作成が期待される。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			日々の暮らしやケアプランの評価を話し合い見直ししている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人・家族の状況に応じて通院、外出の支援をしている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			地域の方に見守りや声掛けをお願いしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所前のかかりつけ医やホームの協力医療機関と連携 を図り支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>内科は2週間に1回往診していただける協力医を希望 される方が多い。他に、職員が整形外科や眼科等、希 望される医療機関に受診介助されている。協力医は、 24時間対応していただけるようになっており、ご家族 の安心感につながっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>看護職員に相談し健康管理を行っている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時は出来る限り面会に行き安心出来るようにして いる。病院側からも経過報告がある。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>看取りの指針を定め、本人・家族の希望を聞きなが ら、かかりつけ医を交えて話し合いをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所でご家族用宿泊施設を建て、ご家族が遠くから 来られる際に泊まったり、終末期にはご家族や管理者 も泊まって看取られたこともある。「病院では死にたく ない」と希望さえる方もあり、希望や状態に応じて 事業所で看取りを支援できるよう、話し合い等を重ね て支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 看護職員を中心に定期的に勉強会をしている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域の協力者も参加して、昼夜の避難訓練を実施している。 (外部評価) 事業所は、水害・津波・崖崩れの危険性のない場所を選んで建設されており、震度7まで耐えられるように設計されているようだ。数日前にスプリンクラーを設置された。消防署や地域の方の協力を得て、昼・夜間時の避難訓練を行っておられる。事業所内の連絡網と別に地域の連絡網があり、地域の方には、事業所の外で利用者の方を安全な場所に避難させてもらえるようになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 誇りやプライバシーに配慮した声掛けをしている。 (外部評価) 「自分のことは自分でしたい」というご本人の思いを尊重し、支援されたり「ご家族や職員に頼りたい」と言われる方の思いも尊重して対応されている。排泄の失敗にご本人が気付かない場合は、職員がさりげなく「汗をかいたので着替えませんか」等と声かけに工夫したり、ご本人が居室におられない時には居室に入室しないよう気を付けておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 各担当者を中心に本人の思いや希望を引き出すようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 天候や体調に合わせ希望された日課を過ごして頂いている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人の行きつけの美容院やスーパーに出掛けている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 地元の食材を使い会話しながら一緒に下ごしらえしている。	
			(外部評価) 調理の下ごしらえを利用者も一緒にされており、破竹の調理法、きびなごの刺身の作り方、餅つきの手取り、おはぎの丸め方等、職員は、利用者から教わるようなことも多いようである。起床時間や食欲にも応じて、食事の時間等も個々に合わせて支援されている。他の方のお膳を下げてあげている利用者の姿もあった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 健康維持が出来るように食事量・水分量を把握し健康管理に努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後口腔ケアの声掛け誘導をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄パターンや習慣を把握し支援している。 (外部評価) 入居時、紙パンツを使用されていた利用者が、そわそわする様子から、トイレに誘導するタイミングを掴まれて、布パンツで対応できるようになったという事例がある。入院時におむつを使用していた方が事業所では「トイレに行きたい」と言われて、主治医と相談し、注意事項を聞き、職員の介助でトイレで排泄できるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 食事や水分を摂る事で便秘を解消している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 朝入浴を希望される方もおられ、本人の生活習慣やペースに合わせて支援している。 (外部評価) 「朝一番に入浴したい」「風呂は暗くなってから入る」等、個々の希望を聞いて支援されている。寝たきりの状態の方は、職員二人で介助して浴槽で温まれるよう支援されている。又「風呂」という言葉だけでも抵抗を示す方には「ちょっと手伝ってくださいませんか」と浴室まで一緒に行くと、入浴につながる等、声かけや対応を工夫して、ご本人が嫌な気持ちにならずに入浴できるよう支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 遅い時間まで眠れない入所者は夜勤者とテレビを観たり、会話を楽しまれる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 症状の変化があれば、かかりつけ医に報告し指導して頂いている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 得意な事でホームのお手伝いをしたり、職員と外出し気分転換を図られている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望の日や時間帯を聞き取り家族や地域の方の協力を得ながら支援している。 (外部評価) 週3回買い物に行く方、2か月に1回カットに行く方「職員となら外出する」と言われる方等、それぞれに合わせて外出を支援されている。ベッド上で過ごす時間が長い方も季節を感じていただけるよう、お花見等に出かける支援をされている。年金支給日には、金融機関で出金伝票を自分で書き、お金を引き出せるよう職員が付き添っておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望により家族の理解を得て銀行や買い物に出掛けている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族や友人に手紙を書いたり、贈り物が届いたら電話を掛けている。又本人で携帯電話を所持している方も居られる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>時間やカレンダーを見やすい位置に掛け、季節の花を生け心地よく過して頂けるように配慮している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関には二人乗りブランコやベンチがあり、調査訪問時、利用者の方は面会に来られたご家族と和やかに話されていた。居間の窓からは田植えの終わった田が見渡せ、網戸からの風通しも良くされていた。テーブルのアジサイやヒマワリの花を見て「きれいな色だね」と利用者の会話も聞こえてきた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>それぞれの方が自分の場所があり、自由に過されている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>仏壇やソファや馴染みの家具を置かれ落ち着いて暮らせるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご夫婦で撮った写真が大きく引き伸ばして飾られていたり、テーブルといすを持ち込まれ、新聞を読んだり手紙を書いたりされている。又、冷蔵庫に、好きなプリンや飲み物が入っているような方もあった。仏壇やソファを持ち込んでいる方もあった。「私は暑がりなの」と扇風機を回しておられた利用者の方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>家具の配置等を工夫し安全に暮らせるようにしている。</p>	